

## 【福島県】

### 【テーマ名】 地域課題解決型募金

「地域課題解決型募金」とは、地域課題の解決に取り組むボランティア団体やNPOが、その必要性を訴えながら、資金を集めることができるしくみです。

地域には子どもの貧困や障がい者の生活支援など、さまざまな課題があふれています。市民レベルでこのような課題の解決に取り組む活動は、県内でも多数展開されています。しかし、多くの場合、ボランティア団体やNPOは、活動資金の調達に課題を抱えています。

そこで、福島県共同募金会では、地域課題を解決するために立ち上がった人たちを直接応援するしくみとしてこのプログラムをご用意いたしました。寄付者の皆さまは、共感する団体を選んで寄付を行い、ご寄付によりNPO団体の活動が活発となり、地域が良くなるという好循環が生まれます。

皆さまの暖かい気持ちを、赤い羽根共同募金にお寄せください。

福島県  
認定特定非営利活動  
法人 パンダハウスを  
育てる会





#### 闘病中の子どもと家族のもう一つの我が家「パンダハウス」の充実（目標額64万円）

福島医大病院では、県内各地や県外の子どもが専門的治療を受けるために入院しています。闘病中の家族の経済的負担や疲労は大きく、パンダハウスの利用者は増加しています。手狭になったハウスではボランティアの会議などにより、利用者が自由に部屋を使えない時間帯もあるため、現在は増築を進めています。増築後の環境を整えたいため、物品の補充・整備をしていきたいと考えています。

（「寄付する」をクリックすると、クレジットカードによる寄付画面に遷移します。）

[寄付する](#)

<p>福島県 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま</p>	<p><b>不登校・避難・貧困等を背景に孤立する子どもの居場所づくり（目標額 40 万円）</b></p> <p>ビーンズふくしまでは、これまでにさまざまな子ども・若者支援の活動を行ってきました。その中で、家族の支えがなく 1 人で過ごす子、生活困窮で欠食や学び・遊び不足の心配される子、不登校で安心できる場を求める子、いじめ等で居場所をなくした子、避難で大切なものを失くした子等の姿が見えてきました。</p> <p>共通することは「孤立」です。恒常的に子どもを支える居場所の必要性を感じています。</p> 	<p><a href="#">寄付する</a></p>
<p>福島県 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎</p>	<p><b>誰もが参加できる「子ども食堂」を3カ所に増設（目標額 40 万円）</b></p>  <p>会津若松市内で居場所を必要とする子どものため、昨年9月「子ども食堂」を開設しました。子どもとボランティアが一緒にご飯を作り、食べることで不安や孤食に伴う問題（栄養の偏り、孤立、理解者不足など）の解消を図ることが目的です。また、子ども食堂ではボランティアによる学習支援も行っていますが、運営費が不足しています。</p>	<p><a href="#">寄付する</a></p>

福島県  
特定非営利活動法人  
ほっとスペースR

**多様な子ども・若者の発達を学び理解し、支援を考える（目標額8万円）**



日本では、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人及びその家族に対する認知度が低く、社会的支援がまだまだ少ないのが現状です。発達障害の早期発見と専門家による適切な支援に加えて、社会が発達障害者を理解し受け入れることにより、当事者は社会的に自立し、地域で安心して生活することができるようになります。

[寄付する](#)